

# 2008年8月期 第3四半期業績 及び業績見通し

**吉高 信**

---

株式会社ファーストリテイリング  
執行役員 CFO

1

執行役員 CFOの吉高です。

2008年8月期 第3四半期業績、及び  
通期業績見通しについてご説明をいたします。

I. 第3四半期決算概要	P3	~	P15
II. 2008年8月期業績予想	P16	~	P21
III. ご参考資料	P22	~	P23

**【資料文中のグループ事業の表示について】**

各グループ事業の構成は、以下のとおりとなっております。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：英国、米国、中国、香港、韓国、フランスにおけるユニクロ事業が含まれています。

国内関連事業：国内を中心に展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)を指します。ジーユー、ワンゾーン、キャビン、アスベジ・ジャパン、ビューカンパニーが含まれています。

グローバルブランド事業：グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)のことで、FRフランス(コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業など)、持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスが含まれています。

9ヶ月累計  
**売上高** : 4,581億円 (前年同期比 +11.4%)  
**営業利益** : 757億円 (前年同期比 +27.7%)  
**経常利益** : 748億円 (前年同期比 +25.6%)

単位: 億円

	1Q ~ 3Q (07/9 ~ 08/5)			3Q (08/3 ~ 08/5)		
	実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
<b>売上高</b> (売上比)	<b>4,581</b> 100.0%	4,112 100.0%	+ 11.4% (+ 0.0p)	<b>1,417</b> 100.0%	1,270 100.0%	+ 11.5% (+ 0.0p)
<b>売上総利益</b> (売上比)	<b>2,304</b> 50.3%	1,950 47.4%	+ 18.2% (+ 2.9p)	<b>735</b> 51.9%	634 49.9%	+ 15.9% (+ 2.0p)
<b>販管費</b> (売上比)	<b>1,546</b> 33.8%	1,357 33.0%	+ 14.0% (+ 0.8p)	<b>520</b> 36.7%	472 37.2%	+ 10.1% (- 0.5p)
<b>営業利益</b> (売上比)	<b>757</b> 16.5%	593 14.4%	+ 27.7% (+ 2.1p)	<b>215</b> 15.2%	161 12.7%	+ 33.0% (+ 2.5p)
<b>経常利益</b> (売上比)	<b>748</b> 16.3%	595 14.5%	+ 25.6% (+ 1.8p)	<b>213</b> 15.1%	169 13.3%	+ 26.3% (+ 1.8p)
<b>当期純利益</b> (売上比)	<b>400</b> 8.7%	316 7.7%	+ 26.8% (+ 1.1p)	<b>114</b> 8.1%	89 7.0%	+ 27.9% (+ 1.0p)

2008年8月期第3四半期累計 のれん償却額: 41億円

3

まず、2008年8月期 第3四半期連結業績についてご説明します。

第3四半期までの9ヶ月累計売上高は4,581億円、前年同期比11.4%増、  
 営業利益は757億円、前年同期比27.7%増、  
 経常利益は748億円、前年同期比25.6%増と、  
 増収増益を達成いたしました。

次のスライドでその要因をご説明します。

売上高 4,581億円 (前年同期比 +11.4%)

国内ユニクロ事業 +282億円      海外ユニクロ事業 +101億円

グローバルブランド事業 +62億円

売上高総利益率 50.3% (前年同期比 +2.9p)

国内ユニクロ事業の売上高総利益率改善 +2.9p

売上高販管費率 33.8% (前年同期比 +0.8p)

販管費率の高い連結子会社の構成比増 +0.6p

のれん償却額増 (+9億円) +0.2p

営業利益率 16.5% (前年同期比 +2.1p)

営業利益 757億円 (前年同期比+27.7%)

4

売上高ですが、4,581億円と前年同期比468億円、11.4%の増収となりました。

増収の内訳は、国内ユニクロ事業で282億円、海外ユニクロ事業で101億円、グローバルブランド事業で62億円などです。

売上高総利益率は50.3%と、前年同期比2.9ポイント改善致しました。これは主に、国内ユニクロ事業において前年同期比で2.9ポイント粗利率が改善したことなどによるものです。

販管費は、前年同期比で189億円、売上高対比で0.8ポイント増加いたしました。

主な影響としては、販管費率の比較的高い子会社の構成比が高まっていることの影響で0.6ポイント、のれん償却額が前年に比べて9億円増えていることの影響0.2ポイントとなっております。

なお、のれんの償却額は41億円と、前年同期比で9億円増加しております。増加の主な要因としては、ビューカンパニーの完全子会社化に伴う一括償却約5億円が第3四半期に計上されたことなどです。

これらの結果、営業利益は757億円、前年同期比27.7%の増益となり、売上高営業利益率は16.5%と前年同期比で2.1ポイント改善いたしました。

## 第3四半期 グループ事業別実績

単位：億円

		1Q～3Q (07/9～08/5)			3Q (08/3～08/5)		
		実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
国内ユニクロ事業	売上高	3,643	3,361	+ 8.4%	1,110	1,018	+ 9.1%
	営業損益	717	562	+ 27.5%	211	155	+ 36.3%
	(売上比)	19.7%	16.7%	+ 3.0p	19.1%	15.3%	+ 3.8p
海外ユニクロ事業	売上高	227	126	+ 79.7%	69	40	+ 71.8%
	営業損益	8	6	-	0	0	-
	(売上比)	3.7%	-	-	1.0%	-	-
国内関連事業	売上高	368	349	+ 5.4%	140	118	+ 18.1%
	営業損益	11	22	-	0	7	-
	(売上比)	-	-	-	0.1%	-	-
グローバルブランド事業	売上高	332	270	+ 23.1%	91	91	+ 0.3%
	営業損益	67	64	+ 5.2%	15	19	20.3%
	(売上比)	20.4%	23.9%	3.5p	16.6%	20.9%	4.3p

プティ ヴィクル社については、決算期を変更したため、11ヶ月分の経営成績(07/07～08/05)を連結しております。  
適用為替レート

2008年8月期第3四半期 1USD=108.42円 1EUR=162.16円 1GBP=217.90円

2007年8月期第3四半期 1USD=118.85円 1EUR=157.93円 1GBP=233.22円

5

こちらでは、各グループ事業別の売上高、営業損益を示しております。

まず、国内ユニクロ事業ですが、第3四半期累計の売上高は前年同期比8.4%増、営業利益27.5%増となりました。

海外ユニクロ事業の売上高は79.7%増、営業利益は8億円の黒字となりました。

国内関連事業の売上高は5.4%増、営業赤字11億円、グローバルブランド事業の売上高は23.1%増、営業利益は5.2%増となっております。

なお、プリンセス タム・タムを展開するプティ ヴィクル社につきましては、決算期を変更したことにより第3四半期では11ヶ月の業績を連結しております。

## 売上・利益とも計画達成し増収増益

3Q (3~5月)

売上高 : 1,110億円 (前年同期比 +9.1%)  
 売上総利益 : 559億円 (前年同期比+14.5%)  
 営業利益 : 211億円 (前年同期比 +36.3%)

単位: 億円

	1Q~3Q (07/9~08/5)			3Q (08/3~08/5)		
	実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
売上高 (売上比)	3,643 100.0%	3,361 100.0%	+ 8.4%	1,110 100.0%	1,018 100.0%	+ 9.1%
売上総利益 (売上比)	1,765 48.5%	1,531 45.6%	+ 15.3% (+ 2.9p)	559 50.3%	488 47.9%	+ 14.5% (+ 2.4p)
販管費 (売上比)	1,048 28.8%	968 28.8%	+ 8.2% ( 0.1p)	347 31.2%	332 32.7%	+ 4.3% ( 1.4p)
営業利益 (売上比)	717 19.7%	562 16.7%	+ 27.5% (+ 3.0p)	211 19.1%	155 15.3%	+ 36.3% (+ 3.8p)

6

次に、国内ユニクロ事業について、詳しくご説明いたします。

第3四半期3ヶ月間の国内ユニクロ事業の売上高は1,110億円、前年同期比9.1%増、営業利益は211億円、前年同期比36.3%増の増収増益のとなりました。

第3四半期の売上高はほぼ計画通りに推移いたしましたが、粗利益率が計画より改善したことから、営業利益では計画を約30億円上回る結果となっております。

項目ごとの説明につきましては、次のスライドでさせていただきます。

**3Q(3~5月) 売上高 1,110億円 (前年同期比 +9.1%)**

ユニクロ直営店 前年同期末比11店舗増 (2008年5月末 741店舗 )

既存店売上高 前年比 +4.2%

客数 前年比 +2.2% 販促活動が奏功

客単価 前年比 +1.9% 値引の減少、一品単価の高い商品が好調

既存店 前年比増減率	2008年8月期					
	上期計	3月	4月	5月	3Q計	6月
売上高	+1.5%	+8.1%	2.8%	+7.9%	+4.2%	+0.7%
客数	0.9%	+5.3%	4.2%	+6.0%	+2.2%	1.3%
客単価	+2.5%	+2.7%	+1.5%	+1.8%	+1.9%	+2.1%

F C店 18店舗を除く

7

売上高9.1%増の背景としては、直営店が前年同期末比で11店舗増えたこと、既存店売上高が4.2%増となったことによります。

既存店売上高の内訳としては、客数がプラス2.2%、客単価がプラス1.9%となっております。

3月は「新美脚ボトムスキャンペーン」が奏功し、ボトムス販売が好調で、高い既存店増収率を達成することができました。

しかし4月は、例年に比べて雨の日が多いなどの天候不順のため客数を落とした結果、既存店売上高も減収となりました。

5月は、ウィメンズカットソーなどの定番商品の販売が好調だったことや、「母の日商戦」に向けたギフト需要を強化したこと、Tシャツキャンペーンも順調だったことなどから、ゴールデンウィークの商売は好調に推移いたしました。

これに加え、5月中旬から開始した「プラトップキャンペーン」が注目を集めたことで、5月の既存店増収率は7.9%と高い伸び率を達成することができました。

### ユニクロの素材、商品の評価が向上

#### コア商品(ベーシック商品)の強化

コア商品(フライスト、タンクトップ、デニム)などの店頭在庫を増やし、分かりやすい、買いやすい売場を実現

#### キャンペーンによる集客効果

藤原紀香さん(新美脚ボトムスキャンペーン)、吹石一恵さん(プラトップキャンペーン)を起用した、ウイメンズに特化したキャンペーンにより、ウイメンズ商品のイメージがアップ、集客に寄与

増収の要因といたしましては、まずユニクロの高品質の素材、例えば、デニム、セーター、また、ヒートテックのような高機能素材への認知が高まったことにより、ユニクロ商品そのものへの評価が全般的に上がったためではないかと思っております。

二つ目の増収の背景としては、コア商品、いわゆるベーシック商品の強化により、フライスト、タンクトップ、デニムなどのコア商品の店頭在庫を増やしたことで、分かりやすい、また買いやすい売り場を実現することができたことがあげられます。

また、キャンペーンによる集客効果も増収の要因となっています。

この第3四半期では、藤原紀香さんによる「新美脚ボトムスキャンペーン」、吹石一恵さんによる「プラトップキャンペーン」など、ウイメンズに特化したキャンペーンを実施したことで、ウイメンズ商品のイメージがアップ、これが集客に寄与いたしました。

**3Q(3~5月) 売上高総利益率 50.3% (前年同期比 +2.4p)**

## 値引販売のコントロール強化

「利益を最大化させる」ことに集中

店舗の意見を反映させた生産数量、値引・限定販売のコントロール

計画通りの販売により在庫処分が少なかった

夏物商品の早めの立ち上がり

9

第3四半期3ヶ月間の売上高総利益率は50.3%と前年同期比で2.4ポイント改善いたしました。

これは上期に引き続き、マーチャンダイザー、営業、経営それぞれが、「利益を最大化させる」ことに集中したこと、店舗の意見を反映させた生産数量や値引・限定販売のコントロールの効果が出ていることによるものです。

キャンペーン商品の販売が計画通りに推移したことにより、在庫処分による値下げが少なかったことも粗利益率改善に寄与しております。

また夏物商品の早めの立ち上がりなども粗利益率改善につながっています。

3Q(3~5月) 売上高販管費率 31.2% (前年同期比 1.4p)

**人件費率 1.1ポイント**

店舗での労働時間の減少

地域限定正社員登用による採用・育成活動時間の短縮

作業効率の向上

**広告宣伝費率 0.4ポイント**

キャンペーンの回数を減らしたことなどにより、電波料が減少

**賃借料率 +0.3ポイント**

ショッピングセンター、都心ビルイン型店舗出店の増加

10

第3四半期3ヶ月間の国内ユニクロ事業の販管費は347億円、前年同期比14億円の増加と、ほぼ計画通りの水準で推移いたしました。売上高販管費率は31.2%と前年同期比で1.4ポイント改善しております。

売上高販管費率が改善した要因としては、人件費率と広告宣伝費率が下がったことがあげられます。

まず人件費は前年同期比で 1.1ポイント改善しておりますが、これは主に、店舗での労働時間が減少したことによるものです。

地域限定正社員の登用により、スタッフの採用・育成活動時間が短縮されたこと、また、店舗作業効率が上がったことが寄与しております。

広告宣伝費率は 0.4ポイント改善しております。

第3四半期は前期と比べてキャンペーンが1本少なかったことなどから、電波料が減少しております。

賃借料率は0.3ポイント上昇していますが、これは、ショッピングセンター、都心ビルイン型店舗の出店が増えた影響によるものです。

## 3Q(3~5月) 海外ユニクロ事業は営業収益改善

**アジア** (店舗数 8月末 27店舗 5月末 35店舗)  
 中国・香港 売上および利益とも計画を上回り順調に拡大  
 韓国 順調に出店を継続、業績を拡大

**欧米** (店舗数 8月末 12店舗 5月末 15店舗)  
 米国 グローバル旗艦店は順調な業績が続く  
 英国 売上未達により営業赤字継続

単位: 億円

		1Q~3Q (07/9~08/5)			3Q (08/3~08/5)		
		実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
海外ユニクロ事業	売上高	227	126	+79.7%	69	40	+71.8%
	営業損益	8	6	-	0	0	-
	(売上比)	3.7%	-	-	1.0%	-	-

11

次に海外ユニクロ事業ですが、第3四半期での売上高は69億円と前年同期に比べ、71.8%増収となり、第3四半期としても若干の黒字を計上いたしました。

これは、中国・香港・韓国といったアジア地区で売上、利益とも計画を上回り順調に業績を拡大していること、米国も収益を大幅に改善させることができたことによるものです。

英国ではグローバル旗艦店のオープンコストの影響、売上未達が続いていることなどから営業赤字が継続しております。

## 3Q(3~5月) 経営改革を推進、3社統合を決定

キャビン コスト削減効果により計画を上回る利益を達成

ジーユー ほぼ計画通りに推移

ワンゾーン 第3四半期では採算は改善

ビューカンパニー 計画未達(3Qから業績を連結開始)

単位: 億円

		1Q~3Q (07/9~08/5)			3Q (08/3~08/5)		
		実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
国内関連事業	売上高	368	349	+5.4%	140	118	+18.1%
	営業損益	11	22	-	0	7	-
	(売上比)	-	-	-	0.1%	-	-

持分法適用関連会社であったビューカンパニーについては、2月末より連結子会社化したため当第3四半期より同社の業績を連結しております。

12

次に国内関連事業ですが、第3四半期での売上高は140億円と18.1%の増収となり、第3四半期では若干ではありますが黒字を計上することができました。

キャビンではコスト削減効果から、計画を上回る利益を達成できました。

ジーユーではほぼ計画通りに業績が推移しております。

ワンゾーンでは最需要期である第3四半期において順調に売上を達成し採算を改善したものの、ビューカンパニーの業績は計画未達となっております。

なお本日、ジーユー、ワンゾーン、ビューカンパニーの3社の経営統合を決定いたしました。具体的な内容につきましては、後ほどのスライドにてご説明いたします。

3Q (3~5月) **計画未達だが実質ベースでは**

**8%増収・営業利益横ばい**(決算期修正後)

コントワー・デ・コトニエ事業：欧州の消費環境悪化に伴い売上計画未達となったが増収増益を維持

プリンセス タム・タム事業：前年同期間(3~5月)では増収、微減益

単位：億円

		1Q~3Q (07/9~08/5)			3Q (08/3~08/5)		
		実績	前年実績	前年同期比	実績	前年実績	前年同期比
グローバルブランド事業	売上高	332	270	+23.1%	91	91	+0.3%
	営業利益	67	64	+5.2%	15	19	20.3%
	(売上比)	20.4%	23.9%	3.5p	16.6%	20.9%	4.3p

- 持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外損益として、「持分法による投資損益(07/9~08/5)」 2.7億円を計上しています。
- プリンセス タム・タム事業については決算期を変更したため、当期及び前期は下記の期間を表示  
 累計 当期：07年7月~08年5月(11ヶ月) 前年同期：07年7月~08年3月(9ヶ月)  
 3Q 当期：08年3月~08年5月(3ヶ月) 前年同期：08年1月~08年3月(3ヶ月)

13

グローバルブランド事業の第3四半期3ヶ月間の業績は、計画未達となったものの、実質的には前年同期比で8%増収、営業利益はほぼ横ばいとなりました。

まず、コントワー・デ・コトニエ事業の第3四半期業績は欧州の消費環境の悪化に伴い、売上は計画未達となっておりますが、増収増益を維持しております。

プリンセス タム・タムの第3四半期3ヶ月間の業績は、昨年が1月~3月を連結したのに対し、今年は3月~5月を連結したことから、大幅減益となっております。しかし、これを3月~5月の前年同期と比較しますと、増収、微減益でした。

このため、グローバルブランド事業全体の第3四半期3ヶ月間の業績はこちらのスライドにありますように20.3%の減益となっておりますが、プリンセス タム・タム事業の決算期を前年と同じ期間に修正いたしますと、売上高は8%増収、営業利益は横ばいでした。同様にグローバルブランド事業の9ヶ月累計でも決算期変更を修正いたしますと、15%増収、営業利益は4%増となっております。

単位: 億円

	2007年8月末	2008年5月末	増 減
総資産	3,597	4,061	+463
流動資産	2,179	2,633	+453
固定資産	1,417	1,427	+10
負債	1,164	1,619	+454
純資産	2,432	2,442	+9

14

次に2008年5月末の連結バランスシートのご説明をさせていただきます。

2007年8月末との比較では、  
流動資産が453億円増加し、固定資産も10億円増えた結果、  
全体の総資産は463億円増加して4,061億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

**現金・預金及び有価証券の増加 +368億円 (1,193億円 1,561億円)**

【国内ユニクロ事業】 営業キャッシュフローの増加など

**たな卸資産の減少 3億円 (551億円 548億円)**

【国内ユニクロ事業】 30億円 【新規連結】 +14億円(ビューカンパニー)

(参考)国内ユニクロ事業 368億円(前年同期末比 5億円)

内訳:冬物在庫: 30億円 店舗数増:+10億円 秋物在庫の積上げ

**有形固定資産の増加 +34億円 (373億円 408億円)**

【国内ユニクロ事業】 店舗増など +12億円 【FR】 商業施設事業など +11億円

【新規連結】 ビューカンパニー +5億円

**為替予約勘定の減少 368億円 (資産175億円 負債192億円)**

【国内ユニクロ事業】 円高の進行に伴うもの。損益への影響は無し

負債勘定(為替予約)と資本勘定(繰延ヘッジ損益)の両建てで計上

まず、流動資産ですが、現預金及び有価証券の合計額は、前期末比で368億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業の営業キャッシュフローの増加によるものです。

たな卸資産は、前期末比では3億円減少しております。

国内ユニクロ事業で前期末比30億円減少した一方、2月末からビューカンパニーを新規に連結対象としたことの影響が14億円あったことなどによるものです。

なお、国内ユニクロ事業のたな卸資産は第3四半期末で368億円と、前年同期末比で5億円の減少となっております。内訳として、冬物在庫が約30億円減少した一方で、店舗数の増加による在庫が約10億円増えていること、その他は秋シーズンの早めの切り替えのため、在庫を積上げたことによる影響です。

有形固定資産は、前期末比で34億円増加しております。

国内ユニクロで出店に伴い12億円増加したほか、持ち株会社においては商業施設事業への投資などにより11億円増加、新規に連結を開始したビューカンパニーの影響が5億円となっております。

為替予約勘定が前期末比368億円減少しておりますが、これは円高の進行に伴うもので、ヘッジ会計を適用していることから損益への影響はございません。

# 【連結】 2008年8月期 業績予想

(変更なし)

単位: 億円

	2007年	2008年8月期	
	8月期実績	通期予想	前期比
<b>売上高</b> (売上比)	5,252 100.0%	<b>5,855</b> 100.0%	+ 11.5%
<b>売上総利益</b> (売上比)	2,483 47.3%	<b>2,871</b> 49.0%	+ 15.6% ( + 1.7p)
<b>販管費</b> (売上比)	1,834 34.9%	<b>2,070</b> 35.4%	+ 12.9% ( + 0.4p)
<b>営業利益</b> (売上比)	649 12.4%	<b>801</b> 13.7%	+ 23.4% ( + 1.3p)
<b>経常利益</b> (売上比)	646 12.3%	<b>791</b> 13.5%	+ 22.4% ( + 1.2p)
<b>当期純利益</b> (売上比)	317 6.1%	<b>410</b> 7.0%	+ 29.3% ( + 1.0p)

【連結】 2008年8月期通期(予想) 設備投資額 200億円、減価償却費 80億円  
 2007年8月期通期(実績) 設備投資額 264億円、減価償却費 65億円

16

ここからは、2008年8月期の業績予想についてご説明いたします。

連結の売上高は5,855億円、営業利益は801億円、経常利益は791億円となるものと予想しており、4月10日の中間決算発表時の従来予想からは変更はございません。

# グループ事業別 業績予想

(変更なし)

単位: 億円

		2007年8月期		2008年8月期	
		通期実績		通期予想	前年比
国内ユニクロ事業	売上高	4,247		4,592	+ 8.1%
	営業損益 (売上比)	640 15.1%		792 17.3%	+ 23.9% + 2.2p
海外ユニクロ事業	売上高	169		300	+ 76.5%
	営業損益 (売上比)	11 -		4 -	- -
国内関連事業	売上高	460		508	+ 10.4%
	営業損益 (売上比)	35 -		27 -	- -
グローバルブランド事業 <sup>1</sup>	売上高	367		430	+ 17.0%
	営業損益 (売上比)	72 19.6%		74 17.3%	+ 3.2% 2.3p

- 1 プティ ヴィクル社については、決算期を変更したため、14ヶ月分の経営成績を連結する予定です。
- 2 のれんの償却額は通期で 52億円 (前年46億円) 見込んでおります。
- 3 持分法適用関連会社であるリンク・セオリー・ホールディングスについては、営業外損益として、「持分法による投資損益(07/9～08/8)」 3.2 億円を予定しています。

グループ事業別の通期業績予想についても従来予想の通りといたします。

## 売上高8.1%増、営業利益23.9%増

(変更なし)

単位: 億円

	2007年	2008年8月期 通期	
	8月期 実績	業績予想	前期比
<b>売上高</b> (売上比)	4,247 100.0%	4,592 100.0%	+ 8.1%
<b>売上総利益</b> (売上比)	1,926 45.4%	2,166 47.2%	+ 12.5% ( + 1.8p)
<b>販管費</b> (売上比)	1,286 30.3%	1,374 29.9%	+ 6.8% ( 0.4p)
<b>営業利益</b> (売上比)	640 15.1%	792 17.3%	+ 23.9% ( + 2.2p)

18

国内ユニクロ事業の通期業績予想につきましても従来予想のとおりで、売上高は前年比8.1%増、営業利益は前年比23.9%増の増収増益を見込んでおります。

# 【国内ユニクロ事業】業績予想の前提

	2007年8月期			2008年8月期			前期比
	実績			予想			
売上高	4,247 億円			4,592 億円			+8.1%
既存店伸び率							
通期	+1.4%			+2.1%			+0.7p
上期(実績)	+2.9%			+1.5%			1.4p
下期(予想)	0.6%			+2.9%			+3.5p
売上高総利益率							
通期	45.4%			47.2%			+1.8p
上期(実績)	44.5%			47.6%			+3.1p
下期(予想)	46.4%			46.6%			+0.2p
出退店数(直営店)	出店	退店	純増	出店	退店	純増	期末店舗数
通期	75	48	+27	58	46	+12	742
大型店	21	0	+21	22	0	+22	50
標準店等	52	47	+5	34	46	12	680
専門店	2	1	+1	2	0	+2	12
上期(実績)	38	28	+10	33	25	+8	738
大型店	10	0	+10	10	0	+10	38
標準店等	28	28	0	21	25	4	688
専門店	0	0	0	2	0	+2	12
下期(予想)	37	20	+17	25	21	+4	742
大型店	11	0	11	12	0	+12	50
標準店等	24	19	+5	13	21	8	680
専門店	2	1	+1	0	0	0	12

ユニクロ直営店出店数のうち、標準店等にエキナカ・エキチカのユニクロ小型店も含まれます。専門店には、ウイメンズインナー専門店「BODY by UNIQLO」、キッズ専門店「ユニクロ キッズ」を含みます。

19

下期の既存店売上高伸び率の予想につきましては、第3四半期の既存店の売上が好調に推移したことなどを考慮いたしまして、従来予想の1.9%から2.9%とし、通期の既存店売上高伸び率の予想は、2.1%と致します。

### ジーユー・ワンゾーン・ビューカンパニー統合

(2008年9月1日付実施予定)

#### 1. 今後の方向性

靴: 「新しい靴業態」を目指す

低価格衣料: 「市場最低価格」を目指す

#### 2. 経営の合理化

共通機能(営業・生産・商品・マーケティング・管理・  
経営計画等)の統合

#### 3. 当期業績へのインパクト 特別損失約18億円

共通機能の統合によるオフィス移転など: 約5億円

不採算店舗の閉店及び減損: 約13億円

20

国内関連事業に関しましては、本日発表いたしましたとおり、ジーユー、ワンゾーン、ビューカンパニーの3社を9月1日をメドに経営統合させることを決定いたしました。

今後の経営の方向性ですが、靴事業につきましては「新しい靴事業」を目指し、低価格衣料につきましては、「市場最低価格」を目指して参ります。

経営の合理化ですが会社の共通機能、具体的には営業、生産、商品、マーケティング、管理、経営計画等の各部門を統合し、効率的な会社運営を目指します。

今回の決定が今期の連結業績に与えるインパクトとしては、特別損失が18億円程度発生することを見込んでおります。

**2008年8月期 1株あたり年間配当金 130円を予想**

	2007年8月期			2008年8月期		
		中間	期末		中間	期末(予想)
1株あたり配当金	130円	70円	60円	130円	65円	65円

業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

最後に、2008年8月期の1株当たり期末配当金は、65円とし、年間では130円と、前期と同水準の年間配当金を予想しております。

なお、ご参考資料として、国内ユニクロ事業の下期業績予想、出退店の一覧表を添付しておりますので、ご参照ください。

以上をもちまして、私からのご説明を終わります。  
ありがとうございました。

## 【国内ユニクロ事業】下期業績予想

(変更なし)

単位: 億円

	2007年8月	2008年8月期 下期	
	下期 実績	業績予想	前年同期比
<b>売上高</b> (売上比)	1,904 100.0%	2,060 100.0%	+ 8.2%
<b>売上総利益</b> (売上比)	882 46.4%	960 46.6%	+ 8.8% ( + 0.2p)
<b>販管費</b> (売上比)	650 34.2%	673 32.7%	+ 3.5% ( - 1.5p)
<b>営業利益</b> (売上比)	232 12.2%	287 13.9%	+ 23.4% ( + 1.7p)

## 連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	07年8月				2008年8月期								
	期末	1Q~3Q累計実績			3Q末	3Q実績				通期 予想			期末
		出店	退店	純増減		出店	退店	純増減	3Q末	出店	退店	純増減	
<b>ユニクロ事業合計</b>	<b>787</b>	<b>70</b>	<b>48</b>	<b>+22</b>	<b>809</b>	<b>25</b>	<b>20</b>	<b>+5</b>	<b>809</b>	<b>81</b>	<b>51</b>	<b>+30</b>	<b>817</b>
国内ユニクロ事業：	748	55	44	+11	759	21	19	+2	759	62	48	+14	762
直営店	730	53	42	+11	741	20	17	+3	741	58	46	+12	742
大型店	28	18	0	+18	46	8	0	+8	46	22	0	+22	50
標準店等	692	33	42	9	683	12	17	5	683	34	46	12	680
専門店	10	2	0	2	12	0	0	0	12	2	0	+2	12
FC	18	2	2	+0	18	1	2	1	18	4	2	+2	20
海外ユニクロ事業：	39	15	4	+11	50	4	1	+3	50	19	3	+16	55
英国：	11	2	0	+2	13	0	0	+0	13	2	0	+2	13
中国：	9	3	1	+2	11	1	0	+1	11	6	1	+5	14
米国：	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
韓国：	14	6	3	+3	17	3	1	+2	17	7	2	+5	19
香港：	4	3	0	+3	7	0	0	+0	7	3	0	+3	7
フランス：	0	1	0	+1	1	0	0	+0	1	1	0	+1	1
ジーユー事業	50	10	4	+6	56	2	2	+0	56	11	4	+7	57
ワンゾーン事業	332	14	34	20	312	4	13	9	312	15	51	36	296
ビューカンパニー事業	-	4	2	+2	108	4	2	+2	108	5	5	0	106
コントワー・デ・コトニエ事業	305	37	4	+33	338	14	1	+13	338	42	4	+38	343
プリンセス タム・タム事業	131	18	1	+17	148	7	1	+6	148	25	0	+25	156
キャビン事業	211	9	22	13	198	4	1	+3	198	9	24	15	196
アスベジ事業	12	0	1	1	11	0	0	+0	11	-	-	-	-
<b>総 合 計</b>	<b>1,828</b>	<b>158</b>	<b>114</b>	<b>44</b>	<b>1,980</b>	<b>56</b>	<b>38</b>	<b>18</b>	<b>1,980</b>	<b>188</b>	<b>139</b>	<b>+49</b>	<b>1,971</b>

ユニクロ直営店のうち、標準店等にはエキナカ・エキチカのユニクロ小型店も含まれます。

また専門店には、ウィメンズインナー専門店「BODY by UNIQLO」、キッズ専門店「ユニクロ キッズ」を含みます。

# 2008年8月期 第3四半期業績 及び業績見通し

**吉高 信**

---

株式会社ファーストリテイリング  
執行役員 CFO

24

執行役員 CFOの吉高です。

2008年8月期 第3四半期業績、及び  
通期業績見通しについてご説明をいたします。